

【特集】創刊50号記念

懐かしいバックナンバーの1面から



まゆみ 達高同窓会報

発行所
福島県二本松市郭内2-347
福島県立安達高等学校同窓会
FAX 0243-22-6314



安達高等学校同窓会 会長 五輪 美智子

「達高生の青春に 栄えあれ！」

全国の同窓生の皆様、お元気で過ごして
すか。記念すべき創立百周年の年に
入学して三年間、新たな輝かしい歴史を
母校の年表に書き加えてくれた143名
の達高生が、令和8年3月1日、威風
堂々胸を張って卒業して行きました。ま
皆様の協力により設立された「メモ

リアル基金」も実施4年目となり、芸術鑑賞会や今や定着した年間180名に及ぶ、各種検定試験に挑戦する達高生への補助などに有効に使われています。昨年は待ちに待った3年に一度の公開大文化祭に、各クラスに2万円の補助も行いました。公開前日の仮装行列で市民の皆さんを驚かせました。甲斐あって、公開当日は二本松快晴。「ほんとうの空」に負けない、鮮やかなコバルトブルーに輝く星々をあしらった「2025 MARYUM FESTIVAL」のアーチを、1500人を越す来場者がくぐりました。同窓の皆さまは、どのような文化祭の思い出をお持ちでしょうか。
私は今でも、女裝した男子生徒の一群に男裝で紛れ込み、久保丁の坂を下り、本町通りで歓声を上げ、亀谷の切り通し

を通過して学校に戻った仮装行列の興奮を克明に覚えています。クラス企画のお化け屋敷だけでは物足りなくて、男子は格技場にリングを作成して覆面プロレス大会、女子は手作りの人形で「源氏物語」の上演。あの時のエネルギーは一体どこから出てきたのでしょうか。記憶は過去のものではなく、甦っては現在のものになると、私には思えてなりません。安達高校で学ぶ生徒さん一人ひとりの青春に栄えあれ！
今年もまた、高橋信次博士の銅像の脇で、百年桜が春風に可憐な花をそよがせました。その姿を見上げた嬉しさを胸に、同窓会役員・事務局員一同、一丸となって安達高校を応援し、活動して参りますので、同窓生の皆様のご理解とご協力を、何とぞ宜しくお願いいたします。

慶祝

次の方々が栄えある叙勲表彰を受けられました。
お祝い申し上げます。

※ 会員の皆さんからの情報に基づいて掲載しております。

☆佐藤吉郎さん (昭和42高卒)

☆瑞宝双光章 (令和7年秋の叙勲)

白岩小と福島三小で校長を務め、子どもを第一にした教育に情熱を注ぎ、大玉村教育長を三期務められました。

☆斎藤 泉さん (昭和49高卒)

☆旭日双光章 (令和7年秋の叙勲)

大玉村商工会長を長年務め、県商工連合会理事として地域のにぎわい創出や活性化に貢献しました。

☆佐久間登知雄さん (昭和46針卒)

☆瑞宝双光章 (令和7年秋の叙勲)

令和7年危険業務従事者叙勲
地域警察官を長く務め、各地の駐在所などで住民の安全・安心を守り続けました。

☆佐藤広三さん (昭和46若卒)

☆瑞宝双光章 (令和7年秋の叙勲)

令和7年危険業務従事者叙勲
刑事、地域両部門に勤務し、若手警官の職務質問能力向上に向けた指導に注力しました。

☆原瀬久美子さん (昭和46高卒)

☆瑞宝双光章 (令和7年秋の叙勲)

音楽教員となり、合唱や吹奏楽を指導。和田糠沢、玉井の小学校長を歴任し、本宮市教育長を務められました。

☆根本誠三郎さん (昭和46高卒)

☆旭日双光章 (令和8年春の叙勲)

すしを通じ、東京電力福島第一原発事故発生後の県産水産物の風評払拭に力を注がれました。

☆丹野 学さん (昭和46高卒)

☆瑞宝双光章 (令和8年春の叙勲)

県小学校長会長として、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの教育現場の復興に汗を流されました。二本松市教育長も歴任されました。

☆青砥昭修さん (昭和49高卒)

☆旭日単光章 (令和8年春の叙勲)

喜多方市黒岩行政区長として、交流館の設置やインターネット回線の開設に努め、特色ある集落を目指しました。

母校だより



あいさつ

学校長 渋川 卓也

同窓会の皆様には、日頃より母校・福島県立安達高等学校の教育活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、本校同窓会が長年にわたり築いてこられた伝統と絆に深く敬意を表しますとともに、本会報誌を通じて母校の近況をご報告できますことを、大変嬉しく思っております。

昨年度は、福島、郡山、本宮、東和、仙台、岩代、東京の各まゆみ会総会にお招きいただき、多くの同窓生の皆様と直接お会いする貴重な機会をいただきました。それぞれの会において、母校への深い愛情と安達高校への大きな期待に満ちたご指導、ご鞭撻を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。同窓生の皆様の温かい思いが、現在の安達高校を力強く支えてくださっていることを改めて実感いたしました。

さて、昨年度の本校の生徒たちは、部活動や進路の両面で素晴らしい成果を残してくれました。島根県で行われた全国高等学校総合体育大会及び滋賀県で行われた国民スポーツ大会のカヌー競技ではそれぞれ全国優勝を果たしたほか、日本代表として海外での大会に出場するなど、全国・世界の舞台で安達高校の名を高めてくれました。

進学面では、福島大学4名をはじめ、会津大学、福島県立医科大学、秋田県立大学など、10名におよぶ国立大学合格者を輩出したしました。さらに、私立大学へ36名、会津大学短期大学を含む短期大学へ15名、看護・医療系専門学校へ18名、その他39名が専門学校へ進学しております。就職面では、福島トヨタ自動車

創立103年目を迎えた母校の様子を、達高新聞160号からも記事をお借りしてお届けします。

株式会社をはじめとする県内外15企業への就職を実現したほか、国家公務員4名を含む8名が公務員として新たな一歩を踏み出しました。生徒一人ひとりが、自らの目標に向かい努力を重ね、進路実現につなげたことを大変誇らしく感じております。

今年5月初旬、ニュージーンズで開催されたカヌーの世界大会に本校3年生が日本代表として出場し、銀メダルを獲得したことは、大変喜ばしい出来事でありました。世界の舞台で堂々と戦い抜いた姿は、全校生徒のみならず、地域にも大きな感動と誇りを与えてくれました。

一方で、本校を取り巻く環境は大きく変化しております。少子化に歯止めがかからない中、福島県では令和元年度より「県立高等学校改革基本計画」が10年計画でスタートし、110校あった県立高校は令和10年度末には70校になる予定です。しかし、この計画は震災の影響により実質8年遅れでのスタートとなり、今年度の県立高校入試平均倍率も0.98倍という状況にあり、今後は第二期高校改革計画も示されるものと考えております。一学年4クラス規模の本校も、今後のあり方を問われる重大な局面を迎えていると感じております。

そのような状況にあっても、安達高校は地域に根ざした学びを大切にしながら、生徒一人ひとりの可能性を伸ばす教育を着実に進めてまいります。「安達高校で学びたい」「学んで良かった」と思える学校づくりに、教職員一丸となつて取り組んでまいります。

結び、同窓会のさらなる発展と、会員皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶といたします。

同窓会入会式



令和8年2月27日、令和7年度(第77回卒業)同窓会入会式を挙行しました。五輪会長が8人のクラス幹事に委嘱状を手渡し、記念に校歌集CDを贈りました。

- 令和7年度
クラス幹事のみなさん
- 1組 石川 怜弥 (二本松市)
 - 2組 根本みずず (二本松市)
 - 3組 熊谷 瑠麻 (二本松市)
 - 4組 川崎 真優 (福島市)
 - 菅野 風雅 (二本松市)
 - 小本 貴翔 (本宮市)
 - 加藤かおり (二本松市)

贈りました。卒業生全員には、卒業記念として卒業証書フォルダーを贈呈しました。翌々日に卒業式を控えた143名は思い出深い体育館で快い緊張感にまつまれば、卒業生を代表して加藤かおりさんから新会員としての自覚と希望にあふれた挨拶がありました。

部活動の様子

カヌー部

母校のカヌー部は、全国高校総体と国民スポーツ大会(スプリント・カヤックシングル500m)で見事二冠を達成した安齋勇真さんをはじめ、選手の皆さんは各大会で目覚ましい活躍を見せました。令和7年度福島県スポーツ協会表彰式において、安齋勇真(当時3年)さんが優秀選手賞、同窓生で顧問の柳沼恵子先生(平成12年度卒)が優秀指導者賞を受賞されました。卒業を前に安齋勇真さんから同窓会にご寄稿いただきました。



前島村さんに贈呈した金と柳沼先生に激励し、遠征先へ送り出す。

また、現3年生の島村金太郎さんが世界大会で銀賞を獲得するなど、在校生も躍進中です。今後の活躍にも大いに期待しています。

「全国2冠」

安齋 勇真



私は、今年度のインターハイと国民スポーツ大会の500メートル種目で優勝し、全国二冠を達成することができました。この結果は、決して一人の力ではなく、仲間や先生方に支えられてつかったものです。

私がカヌーを始めたのは小学五年生の時で、幼なじみの青木悠生くんに誘われて地元のクラブに入ったことがきっかけです。共に練習を重ね、同じ目標に向かって競い合ってきた青木くんの存在は、

- 令和7年度
卒業生特別賞受賞者
- 高橋信次賞
 - 長森 洋人さん(4組)
 - まゆみ賞
 - 青木 悠生さん(1組)
 - 小松 千風さん(2組)
 - 佐藤 隼さん(3組)
 - 大内麻理奈さん(4組)

同窓会入会式に先立って、同窓会からの特別賞が授与されました。栄えある受賞者を紹介します。

美術部

美術部の作品展まゆみ展が3月13・16日、市民交流センターの市民ギャラリーで開催されました。

素晴らかったまゆみ展

初日に五輪会長と佐久間副会長が訪れたおりに福島民報の取材を受け、充実した作品展であることが記事に書かれてありました。私は最終日に庶務の前田さんと共に伺いました。

受付では2年生の小森さんと1年生の川治さんがこやかに出迎えてくださり、ほっこりとした気持ちで入場。まずは二本松神社や提灯祭りがモチーフの「あんどん」に目を奪われ、二本松の夏祭り会場に飾られたとの説明をお聞きしました。



会場には、美術部のほかに美術授業選択者の作品が展示されており、様々な手法・感性の作品を楽しみました。

美術部のみなさん、素晴らしいまゆみ展、ありがとうございました。

高橋信次賞受賞者 長森洋人さんにインタビュー



Q1 受賞した感想は?

率直に驚きました。他にも成績が優秀な人がたくさんいるので「自分が?」という気持ちです。

Q2 学習面で工夫したこと

朝方の生活にして、朝4時に起きて勉強していました。電車の中ではプリント等をスマホで撮影し、その画像を見て勉強することもありました。

Q3 好きな科目は? 生物です。生命体が命を維持し続ける原理のようなものを理解できることが好きです。

Q4 部活動は何を? 二年生の夏頃から、ソフトテニス部で活動しました。家庭の事情等があり、二年生からの入部になりました。

Q5 通学方法は? 自宅は本宮なので、電車で通学していました。四十分くらいでした。

Q6 安達高校へ入学した理由は? 姉が安達高校の卒業生ということもあり、身近な人の考えを聞いていくうちに、自分の見識を広げられる学校だと思えました。

Q7 将来について、どのように考えていますか? 大学では農学系を学びます。将来は農場を経営したいと思っています。その中で、復興に関わりたいと考えています。土地の再生や福島産農作物への偏見払拭ができればと思います。

Q8 後輩へのメッセージをお願いします。 「評定」というのは、しっかり授業を受け、しっかりと提出物を出す等、自分の努力の積み重ねが可視化されたものだと思います。努力の積み重ねは、自分の全てに影響するものだと思つて残りの学校生活を送ってください。

修学旅行の思い出 (現3年) 齋藤小雪里 渡辺こと美

私たちは10月15日から3泊4日で沖縄に行き、修学旅行を実施しました。初日は仙台空港から飛行機に乗り、沖縄に到着しました。そして、バスに乗り首里城公園に行きました。首里城はまだ復元工事中でしたが、少しでも実際に見ることができたので良かったです。

2日目の最初は糸数壕に入り、ひめゆり平和祈念資料館に行きました。当時の沖縄戦の現状にとても恐怖を感じ、戦争の悲惨さを強く実感しました。次に沖縄美ら海水族館に行きました。水槽で泳いでいるジンベイザメが想像以上に大きく、とても驚きました。屋外では、イルカショーが行われていて、とても迫力がありました。また、エメラルドビーチから見る夕日は海に反射していて、とても美しかったです。

3日目はコース別研修でした。ガラスポート、バナナボート、琉球ガラスづくり体験、シーサー色塗り体験、清流リポートレッキング体験の5つ

最終日は、班別自主研修を国際通りで行いました。沖縄ならではの食べ物や雑貨などがたくさんありました。2、3時間では回り切れないくらいの店舗数でした。この修学旅行でたくさん学ぶことができたり、新しいことを体験したりすることができました。とても楽しく良い思い出になりました。



空から県民を守る



吉田大地さん(平成24年卒)

安達広域消防本部から派遣され福島県消防防災航空隊で活動中だった吉田大地さんにメッセージをお願いしました。「航空隊は防災ヘリコプターに搭乗し、空からの救助・消火・救急業務を行う部隊です。県内12消防本部から選抜された9名の隊員で構成され、山岳救助や山林火災等、地上消防だけでは対応が難しい事案に出勤しています。」

私たちが航空隊は活動においてコミュニケーションをとって大切にしていきます。それは、要救助者の方に安心感を与えるだけでなく、航空救助活動

という特殊な環境下で安全にミッションを完遂するためです。声だけでなく、ジェスチャーやアイコンタクトでも意思疎通が図れるよう訓練を重ねます。これからは安達高校で学んだ『まゆみの精神』を支えとし、日々の安全運航に繋がるよう努力していきたいです。」



福島県警察交通機動隊



渡辺大輔さん(平成16年卒)

はじめに、思いがけない執筆のご依頼をいただきました。他にも適任の諸先輩方がいらっしゃるかと存じますが、貴重な機会と捉え、筆を執らせていただきました。

高校時代を振り返ると、部活動の「野球」に明け暮れた日々が思い出されます。朝から日が暮れるまで野球を追い続けた経験は、今の自分を支える人生の土台であり、大切な財産となっています。



制覇の思いを胸に、日々の業務に励んでいます。さらに、今年4月には天皇御一家が来県された際、両陛下のお車の先導という大役を務めさせていただきました。大変貴重な経験となりました。

現在、福島県警察には70名以上の安達高校同窓生が各分野で活躍しています。今後も、強靱でしなやかな心身をもって県民の安全を守り、清楚・誠実に人と向き合いながら、安全で安心な社会の実現に向けて邁進してまいります。

学校生活と夢の往復



シンガーソングライター 片平里菜さん(平成23年卒)

高校に入学した頃にはすでに音楽の道への想いを募らせていて、正直なところ、在学し続けることへの執着はありませんでした。けれど、真新しいセーラー服に袖を通し校門をくぐると、新しい出会いや高校生活に期待が膨み、友達もできたし、恋もしました。秋には金木犀の香りと共に運ばれてくる祭囃子や太鼓の音に胸が高鳴りました。「音楽をしたいから学校を辞める。」と言いつつ、卒業したことも何度もありましたが、充実した学校生活のおかげで、結局辞めること

もなく卒業までであったという間違ったように感じます。それから、二本松駅から学校までの通学路を今でも鮮明に思い出すことが出来ます。駅前の神社、冬は冷たい山風が吹き上げる坂道、酒蔵、川沿の道。城下町の名残を感じられる町。この通学路でたくさんの方を感じ、考えました。安達高校は進学を目指す人や部活熱心な人が多く、部活動をせずに下校する人は少数派でした。わたしは音楽活動のためにバイトをしていました。放課後はそれぞれが仲間たちと部活動に向かっている中で、バイトへ向かうひとりの帰り道は夢への思いをより一層強くしてくれました。3年生になり担任の先生に進路について聞かれると、音楽の道に進むために進学も就職もしないことを伝えました。何も反対せずにただ応援してくれました。今でもその時のことを感謝しています。

「同窓生登場」



令和7年度 二本松市民音楽フェスティバルにスペシャルゲストとして登場

もたく卒業までであったという間違ったように感じます。それから、二本松駅から学校までの通学路を今でも鮮明に思い出すことが出来ます。駅前の神社、冬は冷たい山風が吹き上げる坂道、酒蔵、川

引き留めたのは「どれもこれも今しか味わえない」そんな高校生活だったからだと思います。この先の人生も、あの高校時代のように長いようであつという間なのだろうと思います。人生の選択肢いくらでも溢れています。けれど、迷った時には「今しか出来ること」を選択し続けて、これからは歌い続けていきたいです。

令和7年度 安達高等学校メモリアル基金決算書

収入 11,516,853 円
支出 1,369,895 円
残額 10,146,958 円

1 収入 (単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
(1)繰越金	11,514,573	11,514,573	0	
(2)雑収入	427	2,280	1,853	預金利息
計	11,515,000	11,516,853	1,853	

2 支出 (単位:円)

科目	予算額	決算額	残高	摘要
(1)ユネスコスクール海外等派遣	300,000	302,900	-2,900	ブリティッシュヒルズ語学研修(11名) コミュニタン福島研修(44名)
(2)芸術鑑賞教室	100,000	100,000	0	演劇「EDDIE」
(3)国家試験取得、各種検定	517,000	368,175	148,825	5割補助
①英検	353,000	259,050	93,950	84名(2級23名、準2級47名、3級14名)
②数検	70,000	0	70,000	
③漢検	94,000	105,000	-11,000	76名(2級20名、準2級48名、3級8名)
④簿記検定	0	1,925	-1,925	1名(3級)
⑤QC(品質管理)検定	0	2,200	-2,200	1名(4級)
(4)部活動	400,000	358,820	41,180	
①一般枠	400,000	358,820	41,180	デジタルカメラ、ビデオカメラ、カメラ用三脚、グランドレーキ、テント、ベンチ等
②ユニフォーム助成枠	0	0	0	(※5年ごと補助 R6、R12)
(5)その他必要と認められたもの	240,000	240,000	0	大文化祭の補助240,000円
計	1,557,000	1,369,895	187,105	

同級会開催 しました



昭和52年卒4組クラス会



昭和50年卒古希を前に合同同窓会



昭和48年卒古希同級会

寄付紹介

昭和50年卒合同同級会 昭和50年卒1組クラス会 福島まゆみ会、二本松まゆみ会、それぞれから同窓会活動に役立ててほしいと寄付がありました。同窓会活動の充実のため、有効に活用させていただきます。

寄贈図書

有限会社若松屋書店 岡岡英司社長(昭30)から母校図書館の充実のため、「世界で一番素敵な物理の教室」など16冊、約8万円相当の寄贈がありました。

安達高校同窓会 ホームページ ご案内

同窓会活動のみならず、安達高校生の話題、同級会・OB会情報や同窓生の活躍紹介など多岐にわたる発信しております。一度覗いてみてください。問い合わせ・投稿欄もありますので、皆さんの情報をお待ちしております。



令和八年度 定期総会開催

6月6日(土)「二本松御苑」において開催し、約70名が出席しました。

五輪美智子会長の挨拶の後、来賓の渋川卓也校長、三保恵二二本松市長からご祝辞をいただきました。

議事は、常任幹事の安齋通さん(昭42)を議長に、令和7年度活動及び決算報告、令和8年度活動計画及び予算について審議し、原案通り承認されました。

アトラクションでは、安達地方広域行政組合北消防署の吉田大地さん(平24)から福島県消防防災航空隊での活動や日頃の防災意識についての講演があり、地域の安全を守る頼もしい同窓生に応援の拍手が送られました。

懇親会は顧問の阿部重二さん(昭39)の音頭で乾杯。恒例の校歌凱歌は、応援団の副団長だった佐藤裕治さん(昭60)の勇壮なエールで宴は最高潮となりました。



【令和9年度 定期総会は6月5日(土)】

令和7年度 一般会計 決算書 (自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

収入総額 3,318,866円 支出総額 2,602,434円 残 額 716,432円 (単位:円)

令和8年度 一般会計 予算書 (自 令和8年4月1日 至 令和9年3月31日)

収入総額 4,665,000円 支出総額 4,665,000円 残 額 0円 (単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減△, 摘要. Rows include 入会金, 活動協力金, 繰越金, 雑収入, 繰入金, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減△, 摘要. Rows include 事業費, 後援費, 総会費, 会議費, 慶弔費, 渉外費, 事務費, 基金積立金, 負担金, 諸費, 予備費, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減△, 摘要. Rows include 入会金, 活動協力金, 繰越金, 雑収入, 繰入金, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減△, 摘要. Rows include 事業費, 後援費, 総会費, 会議費, 慶弔費, 渉外費, 事務費, 基金積立金, 負担金, 予備費, 合計.

差引残額 716,432円は次年度に繰越すものとする。

(科目間の流用を認める)

文部だより

二本松まゆみ会

安齋洪基会長のもと活動してきた二本松まゆみ会ですが、この度、本部との統合という形にいたしました。

郡山まゆみ会

今年度も昨年同様、総会と「郡山まゆみ会」会報の発行を予定しております。多くの会員の皆様の参加を期待しております。



仙台まゆみ会

昨年11月8日に15名の参加で総会を開催しました。二本松少年隊の動画上映を行い会員の親睦を深めました。今年も秋に開催いたします。



福島まゆみ会

第46回福島まゆみ会は、昨年6月15日(日)に開催し約30名が参加しました。同窓会の発展を願い、福島まゆみ会より本会へ、金5万円を贈呈いたしました。



岩代まゆみ会

昨年9月に総会を開きました。道の駅さくらの郷駅長菅野正信氏(昭和44年卒)による講演をいただきました。



東和まゆみ会

当支部は毎年総会を開催し前年度の事業・決算報告の承認を得て新年度の事業等を行っています。毎年会員の減少が続いている状況です。



東京まゆみ会

前年までの四谷から秋葉原に場所を移して令和7年度総会・懇親会を開催しました。本年は10月17日(土)に総会・懇親会を予定しています。



本宮まゆみ会

本宮まゆみ会は、達高健児のご活躍と母校のますますの発展を願っております。今年度は会員拡大に取り組みで参ります。



いわきまゆみ会

昨年懇親会等は開催しませんでした。事務局より「いわきまゆみ会の皆様へ」という通信をお届けしました。

福島県警まゆみ会 (職場会)

県警まゆみ会は本年も佐藤裕治会長のもと、約90名の卒業生が母校の誇りを胸に、日夜安全安心のため邁進しています。

福島市役所まゆみ会 (職場会)

会員数は減少していますが、福島市役所まゆみ会は母校の部活動支援や公務員講座のガイダンスを毎年行っています。

「意見等について」

ご意見、住所変更等は、ホームページお問い合わせフォーム、または学校事務局宛にはがき、手紙、FAXでお寄せ下さるようお願いいたします。同窓会の電話はごさいませんので、よろしくお願いたします。

〒964-0904 二本松市内二丁目347 FAX 0243-2216314

編集委員

- 石井一志(昭50), 前田紀子(昭50), 鈴木久之(昭51), 栗本秀子(昭51), 平知子(昭51), 又地いづみ(昭56)



好評 100周年記念誌「安達百年」頒布!

1冊 5,000円(送料込み) 氏名・卒年・住所・電話番号を明示し、お申し込みください。

- 申込先 ①学校事務局(はがき又はFAXで) ②同窓会HPお問い合わせフォーム



- 本部役員: 顧問 阿部重二(昭39), 会長 五輪美智子(昭49), 副会長 佐久間清彦(昭47), 副会長 渡辺謙治(昭53), 副会長 大河内威平(昭4), 副会長 久野綾香(昭18), 監事 渡辺仁一郎(昭49), 監事 國岡美和(昭57), 監事 諸橋一信(昭60)
新常任幹事: 須藤悦夫(昭55), 國分千明(昭55), 小野崎祐一(昭54), 國岡紀之(昭54), 齋藤愛(昭16), 石川達也(昭3)
本部事務局: 事務局長 石井一志(昭50), 庶務 前田紀子(昭50), 庶務 大坪裕一(昭50), 庶務 大谷敏彰(昭50), 庶務 鈴木久之(昭50), 庶務 平栗秀子(昭51), 庶務 齋藤愛(昭16), 庶務 服部昌子(昭50), 庶務 佐々木悦子(昭58), 庶務 安齋悟(昭8)